

自分らしく丁寧に暮らす /

ふじみライフ

THE GUIDE TO FUJIMI TOWN LIFE

発行 富士見町

富士見町で始める丁寧な暮らし

八ヶ岳と南アルプス、富士山の眺望に恵まれた長野県富士見町。

八ヶ岳ブルーと称される澄みきった青空のもと、涼やかな風が吹く高原に可憐な花々が咲き乱れ、澄んだ空気と豊かな水が万物の命を育む。

ここは、標高700~1200メートルに広がる天空のまち。

野鳥の声とあたたかな陽射しで一日が始まり、食卓には旬の作物がみずみずしいままに並ぶ。まちなかには笑顔でいさつを交わす人々の姿。大自然に抱かれて遊ぶ子ども達は、瞳が輝き、力強く成長している。

ゆっくりと流れる時間のなかで、四季の移ろいを感じながら、

自分らしくこちよく、心豊かに日々をいとなむ。

そんな丁寧な暮らしを、ここ富士見町で始めませんか？



富士見町のいいところ

01 太陽が降り注ぐ 晴天率85%を誇る高原の町

生活圏の標高は700~1200m、平均気温は10°C程度。湿度が低く夏でもからっとした陽気。



02 八ヶ岳・南アルプス・富士山が 望めます

町の由来通り、遠くに富士山や町のいたるところから名山が望め眺望抜群！



03 東京から程よく遠く、程よく近い

電車や車でも東京や名古屋からアクセス抜群！特急あざさで2時間15分。町内には「富士見・すずらんの里・信濃境」と駅が3つ。



04 生活に困らない コンパクトシティー

毎日の買い物から病院や温泉、レジャー施設など車15分圏内で渋滞なしで移動可能。



05 子育ても充実しています

公立保育園5園と、民間保育園が3園。病児、病後児保育も総合病院附属の保育室で対応。



06 新鮮な高原野菜 豊かな食生活

畑付きの家も多く自ら野菜を育て収穫し食べる楽しみも。朝採りの新鮮野菜もスーパーや直売所で手に入る。



富士見町エリアマップ

FUJIMI TOWN AREA MAP





STYLE
01

自然に囲まれ、今しかできない経験を重ねる子ども達。
何気ない日常が、豊かな時間になる暮らし。

「住んでみたら、富士見町は暮らしやすく子育てもしやすい町でした」と話す西山さん。偶然の出会いに導かれて移住した富士見町で、山々の景色に日々感動しつつ、元気いっぱい毎日を送っています。

先輩移住者 DATA

西山さん
(2022年に神奈川県から移住)
夫婦で家具工場を経営

INTERVIEW 子育て家族編



より良い環境を求めて横浜から移住

夫婦で独立して10年。ビジネススタイルが確立し、自然豊かな場所で暮らしたいという願いを現実的に考えるようになりました。子育てのしやすさや暮らしやすさを考えながら移住先を探すなかで、偶然出会ったのが今の工場です。景色の良さや空気の清々しさに魅かれ、こんな場所で子育てができたらと、長男が2年生になるタイミングで移住。実際、日々眺める工場からの景色は美しく、気持ちよく仕事ができます。

こちらへ来てすぐに7年に1度しかない御柱祭があり、誘われて参加したこと、地域の方々にもすんなりと受け入れていただけたようです。子どもを介しての関係や移住者つながりなど、人間関係も広がっています。

サッカーとスキーのスポーツ少年団へ入団

子ども達は、自然を感じながらさまざまな経験をしています。特に次男は、1年間野外保育の保育園に通った影響か、外遊びが大好き。好奇心の赴くまま歩き回り、いろんな発見をしているようです。

また、2人とも富士見町のスポーツ少年団で、サッカーとスキーをしています。横浜にいた頃からやってみたいと言っていたスキーですが、スポーツ少年団があるとはびっくり。町内にあるスキー場は車で5分。冬には毎週末コーチに教えていただいて、どんどん上達しています。サッカーの練習もキャンプ場の隣にある自然に囲まれたグラウンドでやっていて、最初に見学に行った時は感動しました。

家族で過ごす豊かな時間

子ども達と工場で過ごす時間も増えました。仕事の合間に話を聞いたり宿題を見てやれたりしますし、親の仕事や働く姿を見せるのも大切な時間だと感じています。

休日には家族で入笠山へ行き、湿原散策や山登り、冬は傾斜を利用してのダイナミックなソリ遊びも楽しめます。思いっきり遊んだ後は日帰り温泉へ。この辺りは温泉が豊富で選び放題。家族で、今日はどこへ行こうかと話し合う時間も楽しいですよ。

子供たちには今しかできない経験を重ねながら、伸び伸びと成長していくってくれたらと願っています。

\ふじみ
/ライフ
Q & A

Q1 富士見のいいところは?

空気の清々しさ。朝窓を開けるたび感動しています。

Q2 お気に入りの風景は?

山々の風景。晴れた日の夕方の八ヶ岳は格別です。

Q3 お子さんとよく行く場所は?

入笠山。湿原散策や登山、冬はソリ遊びもします。



\自分らしく丁寧に暮らす/

ふじみライフ

THE GUIDE TO FUJIMI TOWN LIFE



Aichi → Fujimi

STYLE
02

やりたいことができる場所で、
自分たち流に田舎暮らしを楽しむ

「山の近くで暮らしたい」というご主人の思いと、
「農業をやりたい」と奥様の願い。
ともに叶えた自分達らしい暮らしが、富士見町で始まりました。

INTERVIEW 田舎暮らし編

先輩移住者 DATA

佐々木さん
(2024年に愛知県から移住)

ご主人:会社員(フルリモート)
奥様:農業/ケーキ屋アルバイト



古民家を気に入り、名古屋から移住

移住先に富士見町を選んだのは、ウツリスムステーションで紹介いただいた今のが気がに入ったからです。山が近いロケーション、谷風が通り抜ける気持ち良さ、周囲の家々との程よい距離感、日当たりの良い庭、農業をやりたいと思っていたので、適度な広さの畠があることも大きな魅力でした。それで2023年11月に購入し、空き家改修費補助金を活用して地元業者の手も借りながら改修し、壁などをDIYで仕上げて翌年5月に移住しました。

朝の景色を眺めながら山を走る、最高の時間

僕は、移住を決めたタイミングで転職活動を始め、東京のベンチャー企業に前職のスキルを活かしたソフト開発の仕事を得て、フルリモート勤務をしています。

趣味のトレイルランニングが高じて山の近くで暮らしたいと願うようになった僕にとって、ここは最高のロケーション。毎朝5時頃に起きて、1~1時間半ほど周辺の山中を走ることを日課にしていて、可能な日は夕方も

走りに行きます。朝焼けから刻一刻と変わっていく景色を見ながら走るのは最高に気持ちが良いですよ。先日は、途中で見つけた栗をポケットいっぱいに拾ってきたところ、妻が、「すごいね!」と言いながら栗ご飯にしてくれました。そんな食卓も、この地で暮らすからこそ得られた豊かな時間だと感じています。

地域の方との交流が、 夢だった暮らしをさらに豊かに

私には、畑をやりたい、鶏やミツバチも飼いたいなど、たくさんのやりたいことがあって、今は主に畑仕事をしています。近所の方はびっくりするくらい気にかけてくれるんです。草だらけの畠に耕運機を持ち込んで良い畠に戻してくれたのはすぐ下に住む方ですし、その後もいろいろな方が様子を見に来てくれる農業を伝授してくれます。どっさり頂くお野菜で食卓はいつも賑やかで、頂いた梅で梅酒を作るのも面白かったです。次は野沢菜を収穫したらご近所の方と一緒に漬物を作る約束になっているので、今から楽しみにしています。

＼ふじみ
ライフ
Q & A

Q1 富士見の
いいところは?

夏の過ごしやすさ。爽やかで
冷房なしで快適でした。

Q2 お気に入りの
風景は?

近くのモミの木林。クリスマスツリーみたいで素敵です。

Q3 お二人で
よく行く場所は?

飲食店。魅力的なお店がたくさんありますよ。





STYLE
03

古くからある集落に溶け込み、 地域の一員として心豊かに暮らす

アパート暮らしをしながら、古くからの集落にある築75年超の古民家を手に入れ、改修している横田さん。集落の人との関わりを通して、真の豊かさにも気づきました。

INTERVIEW 住まいづくり編

先輩移住者 DATA
 横田ご夫婦
 (2021年に東京都から移住)
 横田博之：会社員(リモートワーク)
 中西星羅：舞台俳優



支援制度を利用し、東京から移住

インターネットで富士見町の家賃補助制度の記事を目にしたことが、直接のきっかけになりました。元々、私たち夫婦二人で富士見町を案内してもらったこともあり、その際に、魅力的な方と出会えていたことも、移住を考える後押しになりました。その後、補助制度に応募し、採用いただけたので、富士見駅近くのアパートを借りて2021年2月から暮らし始めました。

理想の住まいを求め、富士見町を散策 築75年超の古民家を見つけて購入

実際に住んでみると、富士見は想像以上に素敵な場所でした。おもしろい人がたくさんいて刺激を受けるし、森のオフィスがハブになって、ネットワークを広げたり、新しいことに挑戦するきっかけが生まれたりすることにも魅力を感じました。同時に、妻の星羅は空いた時間に町中を歩き回り、役場の皆さんへの支援もいただけながらようやく見つけたのが、今改修工事を進めている築75年の古民家でした。二人とも見た途端に、「ここ

だ!」と思いが一致し、改修を依頼する予定の大工さんからも「修理すれば住める」というお墨付きをもらったので、2022年に購入しました。

引っ越し前から足しげく通い、 地域の一員として信頼される存在に

選んだ地域は、古くから続く集落。受け入れてもらえるか不安もあったので、早く溶け込めるようにと購入前から地域の方々に挨拶し、足しげく通って出払い(清掃活動)やお祭りにも参加させてもらいました。最初からみなさん親切でしたが、回を重ねるうちにより深い結びつきが感じられるようになりました。受け入れてもらえた実感もあります。また、都会育ちには大変な労力に見える地域の作業や行事も、ここの人たちは当たり前のことで守り続けていて、僕たちはそれを、自分たちの暮らしを自分たちで作る豊かさだと感じています。そして、この集落の一員となる以上、こうしたことを大切にし、後世につなげていく存在になればと思っています。



＼ふじみ
ライフ／
Q & A

Q1 富士見のいいところは?

自然にも人も魅力があり、そのバランスが良いこと。

Q2 お気に入りの風景は?

集落の入口から見える、山を背景に広がる景色が好き。

Q3 お二人でよく行く場所は?

駅前商店街。個性的で魅力ある店がたくさんあります。



長野県富士見町で

住まいを決めよう

ウツリスムで探す

富士見ウツリスムステーション



まずは相談! 空き家マッチング

JR富士見駅舎内にある移住相談室「富士見ウツリスムステーション」で、住まいの相談も受け付けています。富士見町を熟知した相談員が常駐し、地域の特色や集落の様子、移住支援制度などをご紹介します。物件情報はウツリスムのHPに随時UPし、内見には相談員が同行します。

The screenshot shows a search interface for vacant houses in Fudzumi town. It includes fields for location, type (House, Apartment), and condition (Vacant, Under construction, etc.). Below the search bar, there are several thumbnail images of different houses, each with a brief description and a QR code.



STEP 1 情報収集



STEP 2 物件の内見



STEP 5 移住



空き家マッチング
利用者(移住者)の声



補助金を活用し、古民家を改修しました。

この家は築100年以上。内見時は家財道具が溢れ、家もかなり傷んでいたのですが、家からの素敵な眺望に魅かれて購入しました。改修したのは、寒さ対策や水回りの交換、床や縁側の張替えなど。費用が嵩んだので、空き家改修費補助金を上限までいただけたのはありがたかったです。入居して3年。住み心地は大変良く、縁側に座って田園と南アルプスの絶景を眺めているだけで癒されます。家族にとっても憩いの場になっています。

TOPICS 1

賃貸物件の家賃はどれくらい?

- 1K~2K家賃 4~5万円
- 2LDK~3LDK家賃 6~7万円

大手物件情報サイトより

TOPICS 2

空き家のリフォームはどのくらいかかるの?



- キッチン 50~100万円
- お風呂 150~200万円
- トイレ 50~80万円
- 壁と天井のクロス張替え(6畳) 5~6万円
- 床のフローリング化(6畳) 10~15万円
- 玄関 20~80万円

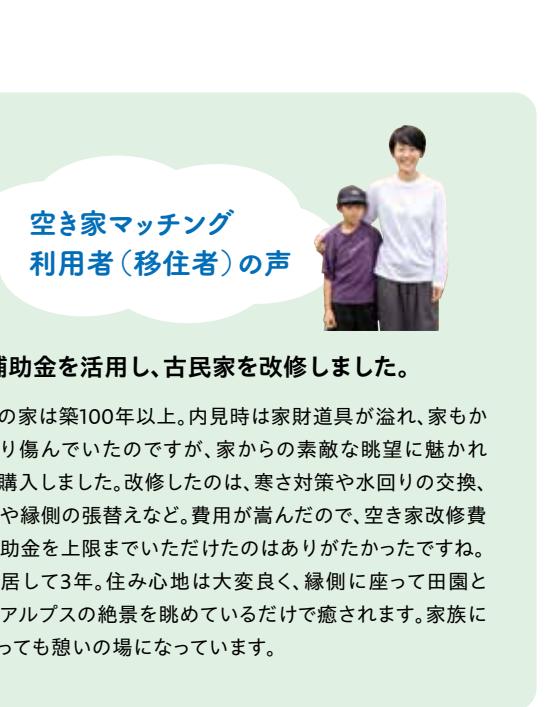
一般社団法人移住・交流推進機構 JOIN HPより

お試し移住

移住体験住宅「夢想庵」

築250年の古民家で富士見の暮らしを体験

家財道具が揃った古民家に3泊以上連泊し、富士見町での暮らしを体験できます。薪割りや野菜の収穫も体験可能。1週間以上の利用者には集落の区長さんも紹介します。





長野県富士見町で

仕事を探そう

顔が見える求人サイトで探す

「ふじみではたらく！」



町内企業の魅力と求人情報を掲載

富士見町が運営する、町内企業にフォーカスした求人情報サイトです。一般的な求人情報に加え、業務内容、魅力、将来性、働く人など、多様な視点から詳しく掲載しています。富士見町での働き方を紹介するインタビュー記事もぜひご覧ください。



TOPICS

近隣都市へのアクセスも便利
求人職種も多種多様

諏訪エリアから甲府周辺までが、車でも電車でも1時間以内の通勤圏。製造業をはじめ、観光関連、医療福祉分野、建築、農業法人など多様な業種の求人があります。

「ふじみではたらく」
職業紹介の流れ

STEP 1 求職の申し込み

STEP 2 求人情報の閲覧

STEP 3 事業所へ求職者の紹介

STEP 4 求職者へ紹介状送付

STEP 5 事業者による面接

STEP 6 採否の決定

コワーキングスペースで働く

富士見 森のオフィス

多様な人々をつなげ、
コミュニティや仕事を創造



森に囲まれた静かな場所にあり、テレワーク等の仕事場として移住者を中心に多様な人々に利用されています。働く場所であると同時に仲間づくりの場ともなっていて、仕事や地域活動などのプロジェクトが数多く誕生しています。定期的にセミナーや交流イベントなども開催されています。



森のオフィスLivingで ワーケーションや移住体験



森のオフィスLivingは森のオフィスに併設する宿泊棟です。富士見町に滞在し、自然豊かな環境で仕事に取り組むことができます。また、数日～数週間滞在し、地域の暮らしを体験したり、先輩移住者から話を聞いて移住のイメージを描く、移住体験も可能です。仕事という入り口から、その後の移住につながるような仕事と暮らしが実感できる場所です。



森のオフィス利用者
(移住者)の声

地域の人・移住者同士をつなぐハブにもなっています。

フリーランスのデザイナーです。森のオフィスは、ディスプレイも各テーブルにあり、心地よく仕事ができるので、よく利用します。いろいろな催しがあり、他の利用者や地域の方と交流できるのもいいですね。ここでの出会いが、仕事の受注につながることも。

仕事 の支援制度

都市圏からの移住者の就業・創業

…60万円～100万円の補助

①富士見町就業・創業移住支援金

東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、愛知県、大阪府から町内へ移住し、就業した方を支援します。

コワーキングスペースを活用して働く移住者

…月額83,000円補助(1ヶ月の家賃光熱費相当)

②移住&テレワーク支援制度

コワーキングスペースを使って働く移住希望者の家賃・光熱費を補助しています。(支給者は選考により決定します)

空き店舗を改修して新たな店舗として活用

…限度額20万円の改修費補助

③空き店舗等活用事業

空き店舗を新たな店舗やコミュニティ施設として利活用するための改修および片付けに要する費用を補助しています。



長野県富士見町で

子育てしよう

一日入園・お試し利用

子育て支援施設体験プログラム

富士見町での子育てを無料で
体験してみよう

大切な子どものことだけに、環境や設備、雰囲気、我が子との相性など、詳しく知りたいのは当然のこと。富士見町では、町立保育園、子育て支援施設、ファミリーサポートセンターを無料で体験していただけます。保育園選びや学校についても、気軽にご相談ください。

※富士見町子育て応援サイト内にある専用フォームからお申込みできます。



ふらっと寄れる子育て広場

子育てひろば AiAi

就園前のお子さんとご家族のための憩いの場

森の中にたたずむアットホームな施設。広いホールや大型遊具もあり、お子さんを遊ばせながら交流できます。親子で楽しむイベントや多彩な講座も人気です。



子育てひろばAiAi
利用者(移住者)の声

子育ての不安が解消し、お友達もできました!

自由に動きまわっていろんなおもちゃで遊べるので、娘たち(4歳・1歳)はAiAiが大好き。私も、他の利用者と交流して育児の悩みを共有したり、スタッフに娘を預けて保護者向けの講座に参加したりして、リフレッシュさせてもらっています。

地域で助け合う子育て



ファミリー・サポートセンター事業

信頼できる人に子どもを預けられる
会員制の相互サポート事業(有料)

子どもを預けたいときには、子育てを支援したい方(支援会員)を富士見町が紹介します。支援会員は、富士見町の面談を経て事前講習を受けた信頼できる方々です。事前に親子で面談する機会を設け、条件の合う方とマッチングします。(要事前登録／利用料:1時間800円～)

こんなときに利用できます

- 早朝出勤時など
- 仕事が終わるまで
- 通園・通学の送迎
- 学校の放課後
- 軽度の病気などで、学校や保育園を休んだとき
- 冠婚葬祭や学校行事などのとき
- 買い物など外出のとき



富士見町の保育施設

町立保育園

- 富士見保育園
- 西山保育園
- 本郷保育園
- 落合保育園
- 境保育園



民間保育施設

- すずらん保育園
- おうち園かめさん
- 野外保育 森の家ぼっち



子育ての支援制度

妊娠時・出生後…それぞれ5万円給付

①出産・子育て応援給付金事業

妊娠時及び出生後にそれぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を給付。

出生時…10万円給付及び出産お祝い券給付

②出産祝い金支給事業

全ての出生者を対象に、出生時に出産祝い金10万円を支給。
出産お祝い券(富士見町オリジナル商品券)児童一人あたり額面2万円分を支給。

0～2歳児…おむつの購入費用を補助

③乳幼児用おむつ

0～2歳のお子さんのおむつの購入費用に対し、お子さん一人当たり年間最大24,000円の補助が受けられます。

3歳未満の第二子以降の乳幼児を 子育てる家庭に補助金を支給

④家庭子育て補助金

3歳未満の第二子以降の乳幼児を家庭で親または家族が子育てる家庭に対して補助金を支給します。
第二子 10,000円／月 第三子以降 20,000円／月

3歳未満児…子育て応援券を支給

⑤子育て応援券発行事業

3歳未満の児童を持つご家庭に対し、子育て応援券が配布されます。ファミリー・サポートセンター事業やその他家事・育児支援サービスの利用料として使用できます。

生後6ヶ月～小学校6年生…病児・病後児保育

⑥病児・病後児保育

病気または病回復期にある生後6ヶ月から小学校6年生までのお子さんを家で育児できない期間、一時的に無料で預かります。

小学校入学児童…10万円給付

⑦入学支援事業

すべての小学校入学児童に対して、入学お祝い金(一人あたり10万円)を給付。

0歳～高校3年まで…医療費無料

⑧福祉医療費

0歳から高校3年までの全ての子どもの医療が無料。



ウツリスム移住者交流会「古民家で郷土料理を味わおう!」

食 から始める丁寧な暮らし

厳しい環境で育まれてきた郷土文化

今でこそ、町内にはショッピングモールやホームセンターもありますが、もともとは物流が困難だった富士見町。冬にはマイナス10度を下回る日もある厳しい環境で、先人たちは知恵を駆使し様々な工夫をしながら生き抜いてきました。

そうしたなかで受け継がれてきたのが、助け合い支え合う「結の心」。おそらく文化や、「上がってけ」と気軽に家に上げて手作りのお茶請けをふるまうおもてなし文化、人懐っこくあたたかい人柄も育まれてきました。



今も息づく“まで”な暮らし

富士見には、まめまめしく働く様子やていねいな仕事を表す“まで”という言葉があり、一説には“まていねい”が転じて“まで”になったとも言われます。

敷地内や近隣で農耕し、自分たちの食べるものは自分たちで作る。時期が来たら山へ入り、山の恵みを享受する。果実になる木を植え、実がなったら梅漬けや果実酒、干し柿を作る。キノコはきれいに洗い下茹でして酢漬けにし、山菜や芋などは寒冷地ならではの冷たい風に晒して、冬に備える…。そんな“まで”な暮らしが、今も富士見には息づいています。

富士見町は食の宝庫～丁寧な暮らしは食卓から～

畑の恵み

四季折々の野菜が彩る豊かな食卓。新鮮な野菜が手軽に手に入りますが、自分で作れば、育てる楽しさ、収穫する喜びなども味わえます。



家庭菜園

農地付き物件が多く、庭先に畑があることも珍しくありません。町が運営する「ふれ愛農園」で農地を借りることもできます。



野菜直売所

JA直売所や道の駅などに、その日収穫されたばかりの地元産野菜がお手頃価格で並びます。伝統野菜やキノコ、山菜などもあります。



農業体験

農作業やワークショップを通して、「農のある暮らし」や「結の心」を体験できます。農家の方々に野菜作りを学ぶ機会にもなります。

食の伝承

食を知り、語ることは、生活や文化、環境を考えることにもつながります。富士見町では、この地に伝わる食文化を、次世代につなげています。



移住者交流会

ウツリスムでは、年2回、郷土料理を囲む会(人と食とに出会う会)を開催し、郷土料理を紹介とともに、地域コミュニティとのつながりの大切さも伝えています。



あぶらえときなこのおはぎ
半つきの「はんごろしおはぎ」にえごまをまぶして。



塩丸いかとキャベツ
保存性の高い塩丸いかは、貴重な海の幸でした。



天寄せ
特産の棒寒天で作る、素朴でやさしいスイーツ。



きのこ汁
ぬめりのある「じこぼう」を入れるのが富士見流。



ささげのコロッケ
伝統野菜「乙事ささげ」を、洋食にアレンジ。



漬け物
地元で人気の漬物の素で、旬の野菜を浅漬けに。



学校給食

故郷の味を子ども達に伝えようと、小中学校は各学校の給食室で作る自校給食です。毎月第三月曜日を「郷土食の日」と決めて、富士見町や諏訪地方に伝わる郷土食の給食を楽しんでいます。

移住までの 5 STEP

STEP 1 移住の目的を考えよう!

移住は人生の中で大きな決断です。理想の暮らしを実現するために、どうしてその環境を選ぶのか、メリットとデメリットの洗い出しが必要になります。ご家族や身近な人ともよく相談してみよう!



STEP 2 情報を集めよう!

住みたいエリアがある、やりたい仕事がある…など、ターゲットを絞って具体的に調べていきましょう。ホームページなどオンラインでの検索に加えて、移住イベントに行ってみるのも良いでしょう。



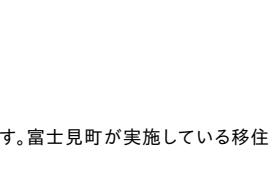
STEP 3 実際に行ってみよう!

現地に行って交通や病院、買い物など生活に必要なインフラの確認や、その土地の雰囲気もチェックしておきましょう。ウツリスムステーションや移住体験住宅「夢想庵」もぜひご活用ください。



STEP 4 仕事や住まいを探そう!

富士見町求人情報サイト「ふじみではたらく!」をチェックしたり、富士見森のオフィスを見学したりして、自分のワークスタイルができる仕事のイメージを膨らませましょう。住まいに関してはウツリスムHPや民間サイトの物件情報をチェックしましょう。



STEP 5 いよいよ移住!

移住には引っ越し費用がかかるほか、暮らしを整えるまでのお金も必要です。富士見町が実施している移住支援制度もチェックしながら、移住後の生活設計を立てていきましょう。

▶富士見町



▶ウツリスム



▶ふじみではたらく



富士見町移住

Q & A

移住に関してよく聞かれるさまざまな疑問・質問をウツリスムステーション担当者に聞きしました。ここにのってない質問は、ぜひ直接聞いてみてくださいね!

Q 病院はありますか?

A 小児科や病児保育も実施している総合病院「富士見高原病院」(救急受付可能)があるほか、診療所も3ヶ所あります。



Q 買い物する場所はありますか?

A 大型スーパーが町内に2店舗と小規模食料品店が2店舗あります。その他、ドラッグストアやホームセンターなど普段生活に必要な物は富士見町で揃えることができます。個性的な店舗が並ぶ商店街でも買い物をすることができます。



Q 夏はクーラーは必要ですか?

A 標高1000m(富士見駅周辺)以下の中だと最近はクーラーを設置する家も増えています。場所によってはクーラーがなくても扇風機があれば過ごせるエリアもあります。熱帯夜となる日は少なく、お盆過ぎには朝晩涼しい風が吹くようになります。



Q 冬の暮らしは大変ですか?

A 降雪は平均10cmほどで県内では比較的少ないエリアですが、朝晩の冷え込みは氷点下10度を下回る日もあるほど冷え込みます。凍結するので運転は要注意!スタッドレスは必須で4WD車がおすすめです。



Q ゴミの捨て方を教えてください

A 生活ゴミは決められた収集日に指定場所に出して下さい。居住区域によって収集日が決められており、可燃ごみはそれぞれ週2回収集日があります。粗大ゴミの収集も含めて転入時にゴミ収集計画表を配布しています。



Q 自治会(区・常会)に加入した方が良いですか?

A ご近所の方や住みやすい環境を築くため加入することをお勧めしています。自治会に入会することで災害時などいざという時の支えあいにもつながります。自治会は39区あり、区費などは各自治会によって異なります。



Q 移住したら戸建てに住みたいですが賃貸はありますか?

A 戸建て賃貸はウツリスムのHPに年に4~5件ほど掲載致しますが、掲載後すぐに決まりってしまうケースがほとんどです。他民間サイトでの紹介もありますので参考にしてください。アパートは駅周辺で2DKで4~7万ほどあります。



Q 物件はどうやって探すの?

A 富士見町は空き家バンクに登録していません。物件情報はウツリスムHP他、民間情報サイトか直接町内不動産業者へお問い合わせください。



自分らしく丁寧に暮らす
ふじみライフ

THE GUIDE TO FUJIMI TOWN LIFE

移住相談窓口

移住・定住に関するご相談

富士見ウツリスムステーション

富士見町役場の職員が、移住相談や空き家物件探しのサポート・移住関係補助金制度のご相談を承ります。

090-1119-9332



utsurisumu@town.fujimi.lg.jp



お気軽にどうぞ!

〒399-0211長野県諏訪郡富士見町富士見4654-796 富士見駅舎内
開所日:平日(ただし、祝日および年末年始を除く) / 開所時間:9時00分~16時45分

Instagram



ウツリスムステーションとは?



子育て・教育に関するご相談

富士見町役場 子ども課

子ども・家庭相談係

0266-62-9233

幼稚保育係

0266-62-9237

総務学校教育係

0266-62-9235

kodomo@town.fujimi.lg.jp

就職に関するご相談

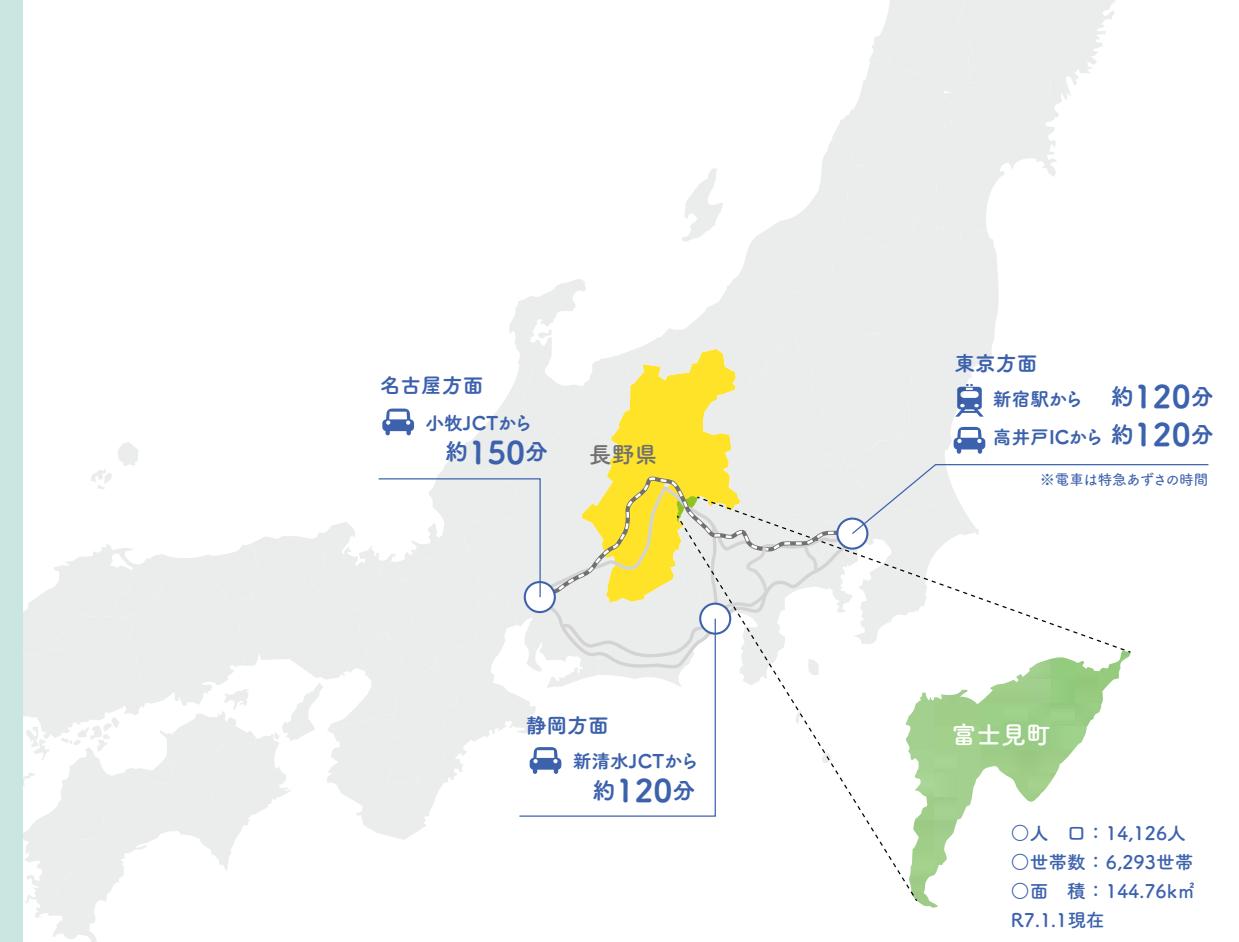
富士見町役場 産業課 工業交通係

0266-62-9228

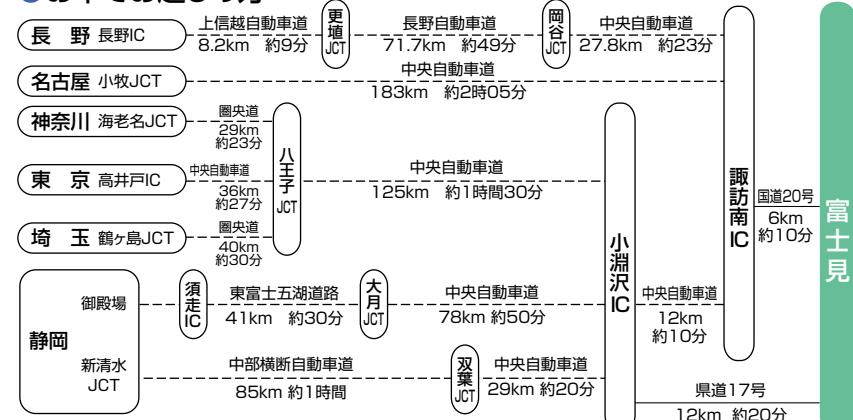
sangyo@town.fujimi.lg.jp

富士見町役場

〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777
<https://www.town.fujimi.lg.jp>



お車でお越しの方



電車でお越しの方

